

感動創造企業

世界の人々に新たな感動と豊かな生活を提供する

現在の企業理念は、1997年4月に、ますます加速する市場や情報のボーダレス化、経営のグローバル化など経営環境や時代の変化を踏まえ、新たに改訂したものである。

改訂の目的は、21世紀に向かって当社が目指すべき企業の姿や行動の方向性をより明確にするとともに、当社グループ企業の全員が、国際的な競争時代に生きていることを改めて認識することである。加えて、内容においては、当社が目指す企業の姿を達成するために、時代の変化をチャンスとして捉え、社員一人ひとりが具体的に行動できるよう理解しやすい平易なものとした。

企業理念は、「企業目的」「経営理念」「行動

指針」で構成している。

企業目的には、従来の長期ビジョンの目指す姿であった「感動創造企業」を冒頭に掲げ、感動創造企業「世界の人々に新たな感動と豊かな生活を提供する」とし、そのために、「人々の夢を知恵と情熱で実現し、つねに「次の感動」を期待される企業」を目指すこととした。

また、企業目的を達成するための経営理念として、①顧客の期待を超える価値の創造、②仕事をする自分に誇りがもてる企業風土の実現、③社会的責任のグローバルな遂行、の3項目を、そして行動指針として、「顧客の視点」「スピーディな行動」「知恵と情熱で新たな挑戦」の各項目を掲げた。

企業理念

A. 企業目的

感動創造企業 世界の人々に新たな感動と豊かな生活を提供する人々の夢を知恵と情熱で実現し、つねに「次の感動」を期待される企業それが、感動創造企業・ヤマハ発動機である。

B. 経営理念

1. 顧客の期待を超える価値の創造

私たちは、感動を生む価値を創造するために、変化する顧客の夢を追求しなければならない。

顧客の期待を超える、質の高い商品とサービスの提供を目指し、適正な利益を得る工夫をしなければならない。

2. 仕事をする自分に誇りがもてる企業風土の実現

私たちは、個人の自主性から活力を生み出す風土をつくらなければならない。

創造性豊かな人材の育成と能力開発を重視し、公正な評価と処遇が行なわれる組織を実現しなければならない。

3. 社会的責任のグローバルな遂行

私たちは、世界的な視野と基準で行動しなければならない。地球環境へ配慮し、地域に対する社会的責任を積極的に果たす企業でなければならない。

C. 行動指針

●顧客の視点

私は、感動する顧客の立場で考え行動します。どんな小さな仕事であっても、いつも顧客が自分の仕事を見ているという緊張感をもって臨みます。

●スピーディな行動

私は、あらゆる変化に対して素早く対応します。

「やるべき時は常に今」と心得、自らの意志で、勇気を持って行動します。

●知恵と情熱で新たな挑戦

私は、仕事の結果を常に見つめ直します。必ず結果を振り返り、次の挑戦への種とすることで、自己を高め、会社の未来に貢献します。